

令和4年度 小平市立花小金井南中学校  
第44回 卒業式 送ることば

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方の卒業がこんなに早くくるなんて信じられない気持ちで、さみしさがこみあげてきます。

2年前の4月、私たちは大きな期待と不安を抱きながら入学しました。

新型コロナウイルス感染拡大のため、初めて先輩方に会えたのは新入生歓迎会。画面越しでの出会いでした。そのような状況でも優しく温かい表情で私たちを迎えて下さった先輩方。とても大きく見えて「かっこいい」と思ったことを、今でも鮮明に覚えています。

初めての部活動では、先輩方が明るい雰囲気でもて迎えて下さり、不安はすぐに吹き飛びました。仲間とともに笑い合う姿…。練習に真剣に取り組む姿…。先輩方はいつも私たちのお手本でした。

三送会で先輩方とまた一緒に練習ができたのに、すぐに卒業してしまうことがとても寂しかったです。

昨年度までは、学年別で行われていた運動会、合唱コンクール。今年度、やっと全校生徒で行うことができました。

運動会では、私たち1、2年生もクラスでまとまり一生懸命取り組みましたが、当日、校庭で見た3年生の姿は、私たちが遠く及ばないほどの「思い」と「気迫」にあふれていました。全員リレーバトンパスの際の鋭い掛け声。仲間を応援するのどが枯れるほどの歓声。10人11脚での、全員で肩を組み、足並みをそろえてゴールを目指す姿は会場にいる全ての人を感動させました。

合唱コンクール。

本番数日前、先輩方の練習を見させていただきました。クラスが1つにまとまり体全体を使って歌う姿、その真剣な眼差しからは、最後の合唱コンクールにかける熱い想いを感じました。「さらに練習を頑張ろう！」という力をもらいました。

本番の日、私たちは初めてルネ小平の舞台で先輩方の歌声を聞くことができました。

先輩方が歌い始めた瞬間……

ホールの空気が一変しました。鳥肌が立つようなあの感動を私は忘れることができません。ホール全体に響き渡るその歌声には、3年分の想いが込められているようでした。

「花南中の伝統を守ってほしい、その上で、新しいことにもチャレンジしてほしい」

先日、最後の委員会の日、先輩からいただいた言葉です。

この2年間……

笑顔で私たちに「安心」をくれた先輩方

困ったときには優しく助言し私たちの背中を押してくれた先輩方

そして、何より自身の力強い背中を私たちに見せ、導いてくれた先輩方

私たちがそんな先輩方によって花南中を支えていくことができるのか本当は不安でいっぱいです。

しかし、先輩方が託してくださった思いを、花南中の伝統を、私たちがしっかり引き継いでいかなければならない……。今、そう思っています。

先輩方の中学校生活は、新型コロナウイルスの影響で我慢することが多くあった3年間だったと思います。しかしその中でも、先輩方は精一杯の姿を私たちにを見せて下さいました。

今、社会は明るい兆しを見せ始めています。私たち在校生は、私たちにしかできない新しい花南中を作るための一歩を踏み出したいと思います。

先輩方も花南中で過ごした日々や経験を糧に、明るく希望に満ちた未来に向かって前進してください。先輩方のさらなるご活躍をお祈りいたします。

本当に2年間、ありがとうございました。心より感謝を込めて「送る言葉」とさせていいただきます。

令和5年3月17日  
在校生代表